

令和5年度 放課後等デイサービス評価 報告書

青葉区医師会 放課後等デイサービス なのはな

職員数:10 回答数:10 回答率:100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10				9月に2単位目を開所。3つの居室を利用し、適切な空間を確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	1			医療的ケア児が多く、基準より多く人員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	5			毎週カンファレンスを実施。情報共有や業務改善を行い、全ての職員に周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2			保護者様の意見を共有し業務改善につなげている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10				ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	3			行っていない。今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10				院内研修の実施と外部の研修にも参加を促している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10				児童発達管理責任者が作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	7			利用されるお子さんの個性が高くアセスメントツールが該当しないため、使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2			カンファレンスを通しチームで作成している。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	4			放課後に入浴や医療的ケアがあるため、活動は不十分だが、早帰りの日や学校休業日に活動を行っている。日々の短時間の中でも、絵本を読むことやマッサージなど、子ども一人一人と関わることを目指している。今後は、ケアとバランスをとることが課題。リハビリスタッフが定期的に介入しリハビリを行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	3			平日と長期休暇ではプログラムを変更しケアを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	4			個別活動、集団活動を明確に分けることはしていない。個別性の活動が多い。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	4			勤務時間が統一されていないため、ホワイトボードやクラウドの連携ツールを用いて役割や確認事項を共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	7			上記同様
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10				記録は適切に行っている。支援の中で改善する必要がある際には職員間で話し合い、改善につなげている。児童発達支援ソフト使用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10				児童発達管理責任者が適切に実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	9	1			ガイドライン参照している。
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	10				学校との連絡は密に行っている。授業風景の見学をするなど、学校での過ごし方なども把握できるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10				必要時は連絡をとれる体制となっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解につとめているか	8	1	1		まだ機会がなく行えていないが、必要となった際には行っていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	8	1	1		まだ機会がなく行えていないが、意向の際は連携したいと考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1	1		自立支援会議で専門職から助言を受けるなどしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	8		できていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	2			児童発達支援管理責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10				日々の子どもの状況は専用システムを用い、電子化した連絡帳で保護者がタイムリーにみられるようにしている。変化があった際には送迎時に必ず共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してのペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	5			保護者に対する支援プログラムは用いていないが、保護者が育児上困難がみえる状況では適宜支援を行っている。
保護者への説明責任	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1			契約時や必要な際に適切に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10				送迎時など短時間ではあるが行い、必要時は電話や家庭連携などでも支援している。
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2			年に1度実施している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				苦情があった際には全職員で速やかに共有し、対策をたて保護者に伝えるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発言しているか	9			1	過ぎている様子がわかるよう写真入りの「なのはな通信」を定期的にお渡ししている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点
保護者への説明責任	35	個人情報に十分注意しているか	10				研修を年に一度実施し、取扱いには十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1			保護者が障害をもつ子どもの育児をする上でどのような心情であるか、健康状態や家庭状況などに配慮をしながら関わらせていただいている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	5			自治会に加入している。2単位目開所時に居室を自治会長に見学して頂いた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	1			各マニュアルを作成しているが内容までは保護者に周知できていないので適時周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10				年2回の防災訓練の実施。また、様々な状況を想定した机上訓練を実施した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10				年に一度に必ずチェックシートによる点検および研修を行い、参加できない職員には資料で共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	1			契約時や拘束が必要になった際には説明後承諾書にサインをいただいている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10				毎週のカンファレンスで共有し対策検討している。